

## 行事報告

### 2019年新春のつどい～講演と食文化交流（2019年2月3日）

2019年2月3日（日）、毎年恒例の「新春のつどい～講演と食文化交流」が開催されました。今年の講演は神戸中華総商会 10 階会議室で張文乃先生が「時を重ねるといこと～音楽に生きた人生」と題してお話されました。講演では張先生がこれまでどのように音楽と関わってこられたかをうかがうことができ、張先生の音楽にける情熱と、中国音楽の普及にいかにより人生を捧げてこられたかを知り、胸がいっぱいになりました。講演に続き、同ビル 2 階にある神戸華僑歴史博物館で特別展を見学。神戸華僑の生活と活動を知る、美術品・生活用具・貴重な文献や資料などの展示を拝見し、今まで知らなかった華僑の世界を見させていただきました。そのあとの、食文化交流は南京町の

東栄酒家に場所を移し、美味しい中華料理に舌鼓。円卓では、友の会の会員の方と料理を食べながら、それぞれの同好会のお話で盛り上がりました。途中、飛び入りで楽器演奏やコーラス同好会の歌の披露もあり、和やかで楽しいひとときを過ごさせていただきました。来年も新春のつどいに参加するのを楽しみにしています。（畠田 裕子）



### 「KOBE 国際交流フェア 2019」に参加して（2019年3月2日・10日）

2019年3月2日・10日の2日間、「KOBE国際交流フェア 2019」が開催された。数千人の来場者という盛大なフェアに、今回、移情閣（孫文記念館）友の会として初めて参加。3月10日（日）神戸駅前スペースシアターにおけるステージ出演とブース出展を行った。「KOBE 国際交流フェア 2019」は、（公財）神戸国際協力交流センター、国際交流フェア実行委員会の主催で毎年行われ、徳田実行委員長・張文乃実行委員の下、移情閣友の会では後藤委員長、濱崎さん、藤浦さん、そして私も運営委員として活動している。

友の会からは、二胡同好会がステージ出演し「台湾メドレー」・「春景」・「賽馬」の3曲を披露、甘く繊細な音色は観客を魅了していた。赤のコスチュームも華やかさを添えていた。

ブースへの出展としては、「中国語、囲碁、コーラス、二胡など中国の文化と音楽を楽しもう！」をテーマに、各同好会の紹介や移情閣友の会の多彩な活動を紹介する展示を行った。また「孫文の辛亥革命を支援した神戸人は多いが、孫文は神戸に何度来訪したか？」などのクイズを出題し、来場者に解いてもらうことによって、一般の方に孫文や移情閣についての理解を深める活動を行うことができたように思う。（齋木 賢一）



## 友の会 35 周年台湾交流の旅特集（P5～7）

コーラス同好会指導張文乃先生からのお誘いで、NPO 法人国際音楽協会と国父記念館などへ音楽交流の旅を実施しました。今一番注目されている古都台南から入国し市内観光のち、第二の都市高雄へ。それから台湾高铁（新幹線）にて台北三都などをめぐるコースでした。参加者の感想をお届けいたします。

